

特別な春

山中 文

昨年3月、私は、「飛び立つ春がやってきましたね」と題して子育て情報を載せました。今年の園だより3月号も「大きくなりましたね」という題にしておりました。

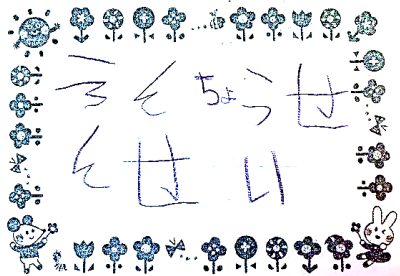
でも、今年の3月は、そのような感慨にひたっているだけではすまないような社会情勢になりました。新型コロナウイルス感染症により、世界中で予防対策が行われる事態になりました。本園も、政府の要請や名古屋市からの連絡等により、2月28日(金)に、急遽次週の3月2日(月)から休園することが決定し、突然通常保育が止まるという事態になっております。預かり保育は実施しておりますが、いつもの3月とはまったく異なる光景になりました。

きっと、これをご覧のみなさまのお宅も大きな影響を受けておられることと思います。どのように対策をとっていらっしゃるでしょうか。

本園では、卒園式も通常通り行えないため、学級ごとの卒園式をすることにしました。年長は3クラスありますから、3回卒園式を行うこととなります。来賓のご出席もお断りし、保護者の方も園児1名につき1名にさせていただきました。内容もカットいたしました。つらい選択です。

でも、こんなクラス単位の卒園式なんて滅多にあるものではありません。卒園をより間近でアットホームな形でお祝いできるチャンスかもしれません。急な形でみなとお別れになった子どもたちにとって、いつもとは違う大変な卒園式ではなく、いつもとは違う特別な卒園式になるように、大事に工夫したいと思っています。

大変な思いでお過ごしの方も多一中、不用意に言うわけにはいきませんが、どうぞ子どもたちに、いつもとは違うことを楽しめる何かがありますようにと祈っています。



これは、本園の郵便屋さんごっこで、園児からもらった手紙のひとつです。たった一言、「えんちようせんせい」ですが、覚えての字を力いっぱい、枠いっぱいにはいている姿を想像して、眺めてはにっこりしてしまいます。子どもたちの力を感ぜませんか？

